

歴代広報紙担当者の皆さんにインタビュー



井口 孝司
(こども未来課)
平成20年5月号～
平成24年4月号

当時は特集に力を入れていて、毎号楽しく広報づくりをしていました。本号では、本市出身で魚群探知機の発明者として有名な古野清孝・清賢さんの成功までの軌跡を特集したものです。担当就任当初から構想していた企画だったこと、お二人の話が面白すぎたこともあって、紙面が足りなくなったのも今となってはよい思い出です。

思い出の強い一冊
平成21年5月号



印象に残っている、思い出の一冊は？



隈部 修司
(総務秘書課)
平成18年5月号～
平成20年4月号

広報紙はまず「読んでみたい」と手に取ってもらうことを第一に考え、創刊号から毎号、広報紙の顔である表紙写真には特に力を入れました。また、本号ではスポーツ大会の記事も掲載しましたが、動きのある被写体の撮影はとても難しく、何百枚、何千枚とひたすら撮り続けた記憶がよくあってきます。

思い出の強い一冊
平成18年10月号



思い出の強い一冊
平成25年4月号



佐藤 守謹さん
(宮城県南三陸町職員)
平成24年5月号～
平成27年4月号

秘書広報課(当時)で手掛けた「撮ってくれんね! 南島原コンテスト」。本コンテストを通じて南島原市の魅力はこういう所なんだというのを市内外の人から教えていただきました。

この気付きは、その後の広報紙作りに役立ったとともにふるさと、南島原市に対する私の思いも変わるものとなりました。

また、コンテストを通じて、日本はもとより、海外の人から「いいね」と共感されたことは、広報担当者としてこの上ない喜びでした。



思い出の強い一冊

世界遺産登録決定臨時号(平成30年7月号)

原城跡を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されたことを受け、広報みなみしまばらの創刊以来、初となる臨時号を発行しました。

とてもタイトなスケジュールでの作成となりましたが、記念すべき大きな節目に広報を担当できて光栄に思います。



吉岡 宏真
(農林課)
平成30年5月号～
令和2年4月号



荒木 智
(農林課)
平成27年5月号～
平成30年4月号

思い出の強い一冊
平成28年5月号



本号の特集は、海水浴情報やマリンスポーツなど海に関するもの。もともと前浜海水浴場をイタリアの海に似ていると話していた国際交流員のランチにモデルをお願いし、写真を撮影しました。海に入ってくれた彼女もそうですが、カメラを構えていた私も海水で膝から下がびしょ濡れになったことが印象に残っています。



思い出の強い一冊
平成24年9月号



林田 俊将
(総務秘書課)
令和4年5月号～

本号では、口之津港がもつ歴史的価値や新生南島原市の魅力を世界に発信するために実施した、口之津開港450年記念事業のメインイベントを中心に紹介しています。私は当時、同事業の担当部署(企画振興課)に所属していましたが、先輩職員のおかげで慌ただしくも楽しい毎日を過ごしていたのを昨日のように覚えています。

いつも広報みなみしまばらをご愛読いただきありがとうございます。

市民の皆さんにはいつも快く取材に協力していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも市民や地域に密着し、愛される広報紙を皆さまと作っていきますので、引き続きよろしくお願いします。



思い出の強い一冊
令和3年9月号



林田 友和
(財政課)
令和2年5月号～
令和4年4月号

噴火災害の記憶を継承するため、旧大野木場小学校校舎が被災してから30年となる9月号で6ページの特集を組みました。噴火当時、私自身も避難生活を経験しており、節目となる時期に広報を担当していたことに何か意味を感じ、この記事が長崎新聞で取り上げていただいたことが印象に残っています。

市民の皆さんのおかげで 特集 広報みなみしまばら 発刊200号

平成18年3月31日に8町が合併し、「南島原市」が誕生しました。

5月には「広報南島原」の記念すべき創刊号となる第1号を発刊し、「みんなで創る新しい歴史の始まり」と題して、新生南島原市のスタートを新市への想いとともにご紹介しています。

その創刊号が発行されてから16年。これまで多くの特集や、話題となっているニュースなどをタイムリーに取り上げるよう努め、創刊号から引き継がれる“読んでみたい広報紙”を発行し続け、今月号で発刊200号を迎えました。広報紙は「今の南島原の情報」を発信していますが、過去の号を振り返ると当時の市の状況や取り組み、懐かしい記事など楽しめる要素がたくさんあります。市のホームページでは過去の広報紙をご覧いただけます。この機会に読み返してみたいはいかがでしょうか。

バックナンバーはこちらから



市HP

広報紙で振り返る南島原史



第42号
平成21年10月号

平成21年8月に島原半島ジオパークが世界ジオパークネットワークに日本国内で初めて、加盟・認定されました。亀石保育園(西有家町)の園児の皆さんが手作りの横断幕でお祝いしました!



創刊号
平成18年5月号

記念すべき創刊号の表紙を飾ったのは、西有家小学校の新入生の皆さん。旧8町の閉町記念式典や、市民の皆さんにインタビューした「新市への想い」などを掲載しました。



第157号
令和元年5月号

元号が「平成」から「令和」に変わり、特集記事では、合併前の旧8町を含め「平成」に起きた出来事を写真とともに振り返りました。



第105号
平成27年1月号

市が合併してから10年という大きな節目を迎えたこの年。松本市長が市長に就任して初めて迎えた、新年のあいさつなどを掲載しました。

広報紙愛読者にインタビュー

発刊200号おめでとうございます。



はま だ じゅんこ
濱田 純子さん(口之津町)

好きなコーナー

国際交流員コラム

7年前に移住してきたときからずっと、広報紙は私の生活必需品です。お気に入り、国際交流員さんが綴る「コラム」かなあ。

ページをめくるとに笑顔が溢れる広報みなみしまばら、これからも楽しみにしています!



さとう みつり
佐藤 光典さん(西有家町)

好きなコーナー

まちの話題、コラム

毎月広報紙が届くのが楽しみで、発刊以来すべて年度別に保存しています。なかでも100号の「世界遺産の推薦内定」と「農林漁業体験民泊が大人気」という記事が印象に残っていますね。これからも身近な話題、市民が読みやすい温かみのある広報紙を期待しています。